

## 児童・生徒数の推計方法

毎年5月1日現在の市立学校在籍数を基礎数値として、児童・生徒数を学校別に推計した東京都作成の「教育人口等推計資料（学校別推計表）」を基に、向こう3年間の推移を示している。新入学児童数は、毎年4月1日現在の学区別の年齢別幼児数を基に推計されるが、当該年度の学区別の入学率（学区別の就学予定者のうち、実際に当該学区に入学した者の割合）が3年後まで変わらずに用いられていることから、令和7年度の入学率が令和8年度以降の児童数の推移に大きく影響する。なお、本推計値には、特別支援学級の児童・生徒数は含まれていない。

## 学級数の推計方法

学級数は、児童・生徒数の推計を基に、学校別・学年別に必要学級数を算出している。令和3年3月に「公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律」が改正され、小学校において令和7年4月までに段階的に全学年を35人学級とすることとなった。中学校においては、令和7年6月12日付の東京都教育委員会通知により、令和8年度から3年かけて段階的に35人学級を実施する予定のため、令和9年度は中学校2年生までが35人学級、令和10年度は全学年が35人学級になる予定である。また、児童・生徒数は住所変更や指定校変更などによる変動を考慮し、令和8年度以降の学級数は各学年、数名増加する場合を想定して算出している。

### 市立小学校の推計

#### (1) 小学校の推計結果の概要

- 児童数のピークは令和6年度であり、令和7年度に減少し、それ以降も減少する。令和10年度までに児童数1,000人以上減少する見込み。
- 学級数のピークは令和8年度で、令和7年度と比較すると7学級増加の見込み。

#### (2) 要因

- 令和7年4月1日時点の小学校の学齢人口（6歳～11歳）は12,173人、未就学人口（0歳～5歳）9,757人である。令和3年度以降、未就学人口が学齢人口を下回っており、その差は年々拡大しているため、令和8年度以降の減少に反映されたと推測される。
- 学級数は、法改正により、令和7年度までに段階的に全学年35人学級となった。令和8年度までは増加見込みだが、児童数の減少に伴い令和9年度は減少に転ずる見込み。

#### (3) 注視する個別の小学校の状況

- 教室確保困難学区に指定されている第一小・八雲台小・富士見台小・滝坂小・石原小・若葉小・緑ヶ丘小の学級数について今後も注視していく必要がある。
- その中で、八雲台小・石原小については、令和7年度と比較して、令和10年度までに最大2学級増加する見込みである。



#### 小学校別の推計(令和8年度から令和10年度まで)

年度	児童数					学級数					7年度と8年度～10年度までの推計の比較	※
	7年度(実数)	8年度(推計)	9年度(推計)	10年度(推計)	増減10年度-7年度	7年度(実数)	8年度(推計)	9年度(推計)	10年度(推計)	7年度と8年度～10年度までの推計の比較		
第一	692	702	723	739	▲47	23	23	24	24	↑	1	
第二	465	456	440	420	▲45	17	17	16	15	↓↓↓	▲2	※
第三	608	624	633	610	▲2	20	21	21	20	↑	1	
八雲台	537	555	557	582	▲45	18	19	19	20	↑↑	2	
富士見台	551	541	521	512	▲39	20	20	20	19	↓	▲1	※
滝坂	573	542	527	501	▲72	18	18	18	18	⇒	0	
深大寺	483	438	384	349	▲134	17	16	15	14	↓↓↓	▲3	※
上ノ原	876	841	783	754	▲122	26	26	24	25	↓↓↓	▲2	※
石原	589	574	551	530	▲59	18	20	20	19	↑↑	2	
若葉	910	852	786	754	▲156	28	28	26	26	↓↓↓	▲2	※
緑ヶ丘	527	541	535	526	▲1	18	19	19	19	↑	1	
染地	178	204	196	206	▲28	8	10	9	10	↑↑	2	
北ノ台	807	771	728	717	▲90	26	27	26	25	↑	1	
多摩川	643	561	517	488	▲155	22	21	20	19	↓↓↓	▲3	※
杉森	651	618	571	543	▲108	21	21	20	19	↓↓↓	▲2	※
飛田給	384	373	368	361	▲23	13	14	14	14	↑	1	
柏野	569	523	508	466	▲103	20	19	19	18	↓↓↓	▲2	※
国領	331	321	310	289	▲42	12	12	12	12	⇒	0	
布田	450	429	407	422	▲28	15	15	14	15	↓	▲1	※
調和	609	623	607	590	▲19	20	21	20	20	↑	1	
小学校計	11,433	11,089	10,652	10,359	▲1,074	380	387	376	371	—	—	

網掛けの児童数・学級数は、令和7年度から令和10年度までの最大値を示している。  
青枠は令和7年度と令和8年度から令和10年度までの最大値の比較、または、令和7年度が最大値の場合は令和8年度から令和10年度までの最小値(※)と比較し、その増減数を↑⇒↓の数で示している。

### 市立中学校の推計

#### (1) 中学校の推計結果の概要

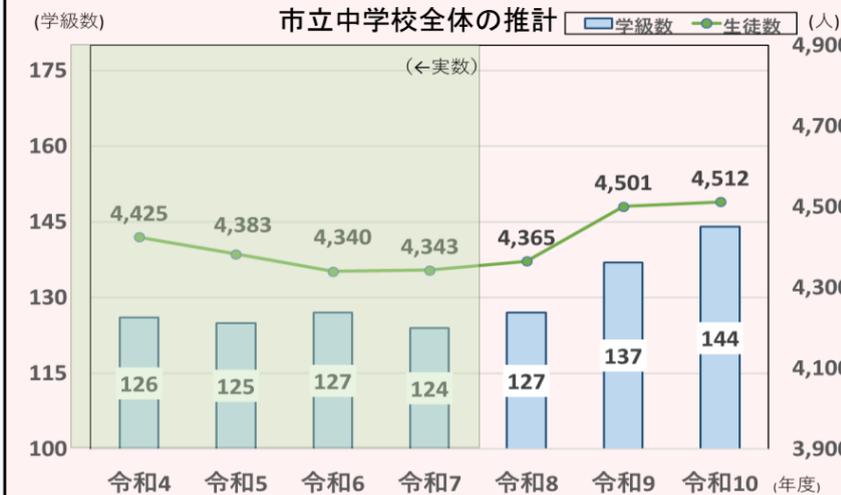
- 生徒数及び学級数は、令和8年度に増加し、令和10年度までに生徒数は150人以上増加する見込み。

#### (2) 要因

- 令和7年4月1日時点の学齢人口について、中学校3年生1,939人、中学校2年生1,970人、中学校1年生1,988人である一方で、小学校6年生2,042人、小学校5年生2,146人、小学校4年生2,005人と、今後中学校に入学する人口の方が多いため、生徒数は学年進行に伴い増加していくと推測される。
- 学級数については、上記の生徒数の増加に加え、令和9年度は中学校2年生までが35人学級（現在40人学級）、令和10年度は全学年が35人学級になる予定であることから、増加する見込みである。
- 中学校は、私立中学等への就学や学校選択制により学区外に就学する場合もあり、小学校の傾向とは異なる場合がある。

#### (3) 注視する個別の中学校の状況

- 調布中・第三中・第四中・第七中・第八中の学級数は、令和7年度と比較して、令和10年度までに3学級以上増加する見込みであることから、今後も注視していく必要がある。



#### 中学校別の推計(令和8年度から令和10年度まで)

年度	生徒数					学級数					7年度と8年度～10年度までの推計の比較	※
	7年度(実数)	8年度(推計)	9年度(推計)	10年度(推計)	増減10年度-7年度	7年度(実数)	8年度(推計)	9年度(推計)	10年度(推計)	7年度と8年度～10年度までの推計の比較		
調布	572	598	622	632	▲60	17	17	19	20	↑↑↑	3	
神代	876	822	829	817	▲59	24	23	24	25	↑	1	
第三	665	700	746	730	▲65	19	21	23	23	↑↑↑	4	
第四	352	364	387	385	▲33	10	10	12	13	↑↑↑	3	
第五	727	705	708	720	▲7	20	20	20	22	↑↑	2	
第六	374	344	326	303	▲71	12	11	11	11	↓	▲1	※
第七	411	424	422	432	▲21	12	13	14	15	↑↑↑	3	
第八	366	408	461	493	▲127	10	12	14	15	↑↑↑	5	
中学校計	4,343	4,365	4,501	4,512	▲169	124	127	137	144	—	—	

網掛けの生徒数・学級数は、令和7年度から令和10年度までの最大値を示している。  
赤枠は令和7年度と令和8年度から令和10年度までの最大値の比較、または、令和7年度が最大値の場合は令和8年度から令和10年度までの最小値(※)と比較し、その増減数を↑⇒↓の数で示している。